

言葉の森* ④

北星学園大学 経済学部

増田辰良

2022年10月26日 NO. 24

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地

西2丁目3番1号

北星学園大学 経済学部

メール・アドレス: masuda@hokusei.ac.jp

*このワーキングペーパーは、著者個人の責任において書かれたものであり、北星学園大学は、発行管理のみを行っています。

目次

はじめに

言葉の森 ④

はじめに

コロナウイルス禍中で考えたこと。それは感染対策そのものよりもそれを発する政治家たちの言葉だった。政治家の口から「誠実な言葉」を聞いた覚えが無い。政治家は国民と同じ世界に生きていないことを体感させられた。

危機的状況に直面すると、人間は言葉に過敏に反応する。その状況において、言葉の送り手と、その受け手は言葉への共感力が試される。送り手の貧相な言葉と、受け手の豊かな共感力が不平等のままでは世の中は正しく動かない。ところが、この国では受け手の共感力を問う前に政治家の発する言葉の軽さ、貧相さばかりが目立つ。いくつかその言葉を拾ってみた（拾い上げれば切りがない）。

筆者がもつとも腹立ちしたのは自分たちの感染対策が失敗しても一言も謝罪しないまま、また別の対策を無理強いしてくる、その無責任さである（担当した大臣のブサイクな顔が浮かぶ）。感染対策への有効な立案能力も無い。しっかりした反省や謝罪のないまま次へ進まれても国民はそんな対策を信用するわけがない。協力しようという気持ちさえ萎なえてしまう。

こうしたことを想像すらできない政治家たちが多すぎる。

あえて謝罪を要求すれば、

「おわびしたいと思う」

と結ぶ。

これは思っているだけで反省の欠片もなければ心中から謝る意志も感じられない。

正しい日本語は「おわびします」である。

これを正面切って正すと、謝罪の仕方において、

「誤解を招いた」「誤解を与えた」

と言い返してくる。

国民は誤解するほど無能ではない。そう答える相手の真意をしっかりと理解しているが故に謝罪を求めているのである。

「丁寧な説明」、「丁寧に説明する」。

これも頻繁に耳にしたが、もはや「丁寧な言葉遣い」と、同義となっている。

政治家が国民に向かって説明することはすべてが丁寧になされることは自明のことだ。なぜなら政治家は国民（プリンシパル）に雇われている被雇用者（エーゼント）なのだから。ただし、エーゼントは自分の信条にウソをつけてまでプリンシパルにおもねることを要求されているのではない。ウソは必ずバレ、プリンシパルからの信頼を失うからである。

プリンシパルがエーゼントに求めることは単なる説明ではなく、納得させてもらいたいのである。政治とは言葉を駆使して、一人ひとり異なる意見をもつ国民を納得させる営みであるからだ。ところが、政治家の発する言葉自体が国民に届かない。国民の心に響く言葉が発せられない。なぜか？ そのヒントは外国語の習得方法の中にある。相手が話すことを聞く耳を持たなければ、

外国語は習得できない。これと同じで政治家は自分の政策を国民に聞いてもらうには、その前に国民の声を聞く耳を持たなければならぬ。この耳を持つことは至難の資質であろうが、国民にとってエーゼントにすぎない政治家には必須の資質である。がしかし、国民にとっては聞き入れて欲しいだけじゃない。聞いたことに応えて欲しいのだ。応えられるのである。「国民の声を聞く」と豪語して総理大臣になった輩がいるじゃないですか。

政治家は、国民の声の一部を代弁する記者インタビューには納得してもらえらるまで話す義務がある。

「様々な声があることは承知している」

国民は「承知している」内容を話してもらって、納得させてほしいのだ。「承知している」で終わるのであれば、それは論点をずらして（ご飯論法、ヤギさん答弁と呼ぶそうだ）、その場をとりつくろっているにすぎない。これでは説明責任すら果たしていない。

不都合な事実を隠し、真剣に考え抜いた政策がたとえ失敗したとしてもそのときは謝罪し、納得されるまで説明すべきである。

最後に政治家へ苦言を呈します。

政治家を目指す者は、まず日本語をしっかりと勉強し、コミュニケーション能力を高める訓練をすべきです。人が誰かの立場に共感できる心情を持つには、幼い頃からの躰や訓練によるところが大きい。こうした基礎的な能力や共感力を欠く政治家たちにこの国の運営を任せておいて大丈夫なのか、という危惧や心配を起こさせているようではあんたらの給与は高すぎます。そして、言い切りたい。「本当に賢い人間は政治家になんてならない」。違った形で社会に奉仕しているから。

言葉の森 ④

自民党新総裁

— 私は聞き上手です。国民の声を聞きます。

これまでは聞いてこなかったことを白状したな。

聞いたら、「応える」のだけ。解かっているのか？ 応えられるのか？

あんた誰から給料をもらっているの？

「大法螺も 言ったそばから 尻すばみ」

私は聞き上手です

いいえ、違いますよ。もつと正確に言えば、右から左へ「聞き流し上手」ですね。

国のリーダーたちの学力不足

今に始まったことじゃない!! かつて「怪我、破綻、詳細、踏襲、未曾有などなど」が読めない総理がいた。その器で辞めた後も副総理・財務大臣までやったぞ。

あ、そう。

政治家 厄介太郎

— 『温暖化したおかげで北海道のコメはうまくなったろ』

冗談じゃない。みんなの努力を知らんのか!?

誰だ！ そんな軽口をほざいているヤツは！
あの人だよ。あの人しかない。国語力が〇点の人。
あ、そう。

国民の敵？

それは政治家と官僚たちです。

国民（善人、誠人） vs. 政治家（悪人、嘘人）

― コロナ禍中、ある哲学者の言葉。

「国民は政治家が発する巧妙な言葉の言い換え、発言の裏にある真意や矛盾を見抜く不断の努力を強いられている。」

政治家は誰のために働いているの？

政治家になる人って??

そもそも国民にこんな努力をさせる政治家って???

（注。『朝日新聞』「声」 2021年9月22日、10月6日参照。）

政治家を詠む

失政を謝罪もしないド素人

公約は口にはしても反古とする

聞く耳は持つが応える姿勢なし

その程度でしょ日本の政治家は

選挙前口先だけは景気いい

選挙前打ち出の小槌を振るのみ

法螺吹けど懐寂し選挙前

自らの給与を返納すると言え

政治を詠めばいくらでも句はできる

禁句と付度

学生… 先生。論文って、どう書けばいいのですか？

教授… 君?? それは……。

学生… 先生も書いているのでしょ？ 教授ですよね??

教授… だから、それはだねえ……。

学生… ……すつ、すみまん。分りました。失言です。取り消します！ ごめんなさい！

備えあれば憂いなし

― コロナワクチン接種の副反応として37・5度以上の発熱がある、と報道された。

対処法は接種の直前に「解熱剤」を服用することですかね？

良問です

― 低レベルな大学の定期試験問題。

教授 15回分の講義ノート出して、すべて模写しなさい。

眠り

祖父 大学生になると朝寝坊だな？

孫 午前中は講義がないから。

祖父 「早起きは3文の得」と言うぞ。

孫 ……？ お祖父ちゃんは毎日、何時間寝てるの？

祖父 せいぜい5時間だ。

孫 ちようみじ超短かあ！ そっかあ、そのうち永久に寝てられるもんね。

親知らず

奥歯が痛くて、歯医者へ行ったんだ。そうしたら親知らずという歯が一本虫歯 (cavity) になっ
ていてさあ。

親知らず？ 一番遅く生えてくる4本の奥歯のことだな。

そう。親も気づかないうちに生えてくるからそう呼ぶそうだよ。それが酷い虫歯と言うから、
麻酔を打って、削ってもらったんだが……。

どうした？

ついでに歯石 (tartar) と歯垢 (plaque) も除とりましょう、って余計な出費をさせられたんだ。

ほ。その歯医者は賢い商売してるな。

どうして？

だって、親知らずは、wisdom tooth (知恵歯) だよ。

重い腰

年老いた父は風邪気味である。ゴホン、ゴホンを繰り返している。

私は声をかけた。

「病院へ行けばいいのに」

「これくらい大丈夫だ。寝てりゃあ、治る」

けどるそんな声を返される。

が、そう言ったとたん「ゴホン、ゴホン」。

しだいにその回数は増える。

そのたびに私も「病院、やってるよ」を口にした。

しかし、父はいつまでたっても腰を上げない。

私は意を決し、父を背負って徒歩5分先にあるクリニックへ向かった。

「ああ、重い」

私を月へ連れてって！ ①

― ある休日の昼食時、姉はラーメン、弟はおむすびを食べながらテレビのニュース番組を観て
いる。アナウンサー (談) 地球の温暖化にともない果物にも被害が出ています。温州ミカンでは、

果肉と皮の間にすき間ができてしまい、ブカブカになる現象が増えています。これは浮皮うきかわと呼ば
れるもので、こうなったミカンは商品価値がなく廃棄されます。昨年度の廃棄量は××トンにも
達しました。この事態を憂慮し、厚生労働省、⁵ いえ農林水産省は新たな品種改良に取りかかりま

した。

— ダイエットを始めたばかりの姉は目をこわばらせ、ラーメンを凝視してつぶやきます。

姉：ブカブカはいや、価値なしもいや、廃棄はもつといや。品種改良はひどい、それだけは絶対にいや。ズル〜ズル！

弟：姉ちゃん、無理しないでね。ダイエットをして、逆に身体をこわす人いるそうだから。

姉：まずは目標として月末までに5kgの減量よ。ズルズル！ 食事制限はばっちりだし、早朝のランニングも始めたし。ズルズル！

弟：姉ちゃん、知ってる？ 食べる量や回数、それに甘いものを減らして、ランニングをするよりも、毎日1万歩歩くほうが効果はあるそうだよ。だってね、ダイエットに挑戦している人たちの多くがウォーキングの効果重視しているんだもの。同時に炭水化物の摂取量も減らすといいけどね。それからね、食事や体重の記録をつけるのも目標を達成する自覚になるそうだよ。

姉：分かってるわよ。記録をつける前に十分すぎるほど自覚はできてるわ。意志も強いわよ。見てよ、このラーメンだっていつもより少なめよ。ライスなしだし。それに日曜日ごとに、スポーツジムで2km泳ぐ予定なんだから。大丈夫よ。我慢するし、努力もできるのよ、お姉ちゃん。は。ズル〜ズル！ ああ。

弟：そっかあ。でもね、姉ちゃん、ただ泳ぐだけじゃ身体は締まらないよ。

姉：どうして？ 水の抵抗を受けるだけでも脂肪を燃焼させる効果があるってコーチは言ったもん。ズルズル！ ああ。ズル〜ズル！ ああ。

弟：確かにそうかもしれないけど、泳ぐスピードが大切だと思うよ。ジショウカジキは時速108kmで泳ぐそうだよ。クロマグロは80km、あの大型のシャチでさえ55・5kmだからね。速いと思ってるオリンピック選手はわずか8kmなんだ。姉ちゃんの好きなマグロの刺身が美味しいのは身が引き締まって、必要な脂肪だけが残っているからだよ。

姉：もうー、うるさいわね。えらそうに。25歳を過ぎて体重が65kgもあるOLの気持ち分かるんでも言いたいのか？ 弟のくせに、もう、何よ。そんなスーパーマンじゃあるまいし、魚に勝てるわけないでしょ。5kg減らせれば目標達成なの。あんたに心配されなくても自己管理はできるの、大人なの、私は。ズル〜ズル〜ズル！ ああああ。やつぱ、クド濃い豚ラーメン、美味しいわ。これ食べると幸せ感じるよね。ズルズル〜ズル、ああああ。でもライスはがあれば、もつと、あ〜あ。

— トレーニングジムにて。

姉：ゴクゴク、ああー、美味しい。泳いだあとのコーラはたまないわ。ああー、極楽じゃあ。さて、泳ぎ疲れたし、今夜は餃子でもいただこうかな。適度な運動とバランスのよい食事が効果を高めるそうだから。こんなに頑張っている自分へのご褒美にビールもつけよっかなあ。餃子にはビール、バランス合うもんね。ああ、いけないビールはだめよ、ノンアルコールにしよう。これならカロリーオフだよ。

— こうして適度な運動(?)とバランスのよい食事(?)を1カ月間心がけた。姉は笑みを浮かべ体重計に乗ったが……。

姉 どうして、どうしてあれだけランニングして泳いで、おまけに大好きだったケーキもパスタもチョコもラーメン、餃子までもすべて我慢してきたのに？ 何よ、わずか1kgしか減ってないわ。体重計、壊れてない？ ああ、これじゃあ、素っ裸の状態と変わらないわ。節制と運動をしてきた効果はないじゃん。ジムの会費もばかにならないのにー。もうー！

弟 体質なんだよ、姉ちゃん。諦めずに続けるしかないよ。このさい、体質改良すると思って、ねえ？ 継続は力なりって言うじゃない。

姉 あーあ、もういや！ 品種改良だなんて。あんたはねえ！ 何てこと言うの！ それでも血を分けた姉弟なの？ 私がどれだけ我慢、辛抱してきたかを知ってるでしょうが、この！

弟 違うよ、違うよ、体質改良だよ！ 体質！

姉 もうーもうーいや！ 誰か私を月へ連れてって!!

弟 どうして??

姉 あんたも学校で習ったでしょ。月では重力が地球の10分の1しかないの。だから、いくら食

べても軽いままでいられるのよ！

弟 違うよ、6分の1だよ。姉ちゃん！ 脳ミソまで軽くしちゃあ、だめだつてばあ。

私を月へ連れてって！ ②

— 30歳をすぎた独身OLの姉がダイエットを始めた。昼食時、大学生の弟がラーメン・ライスを食べている。

「ズルズル！ ああ。ズルズル！ あーあ。美味しい。やっぱ、ラーメンはこのトン豚だよな」

— 弟の前で姉はリンゴをかじっています。

「あなたねえ。ラーメンにライスじゃあ、炭水化物の取りすぎよ」

「いいんだよ。俺はこれから(アメフト)部活で脂肪を燃やすんだから。これくらい食べないと身体がもたないの。それよりも姉ちゃん、ダイエット、やってるの?」

「やってるわよ。私は意志が強いから。月末までに5kg減らす予定よ」

「で、ダイエット法は?」

「食事制限して、ランニングをしてるわよ」

「姉ちゃん、食べる量や回数、それに甘いものを減らして、ランニングをするよりも、毎日1万歩歩くほうが効果はあるそうだよ。ダイエットに成功した人たちの多くがウォーキングの効果を指摘しているぜ。それから、食事や体重の記録をつけるのも目標を達成する自覚になるそうだよ」

「分かってるわよ。記録をつける前に十分すぎるほど自覚はできてるわ。あんたに心配されなくても自己管理はできるの、大人なの、私は。それに日曜日ごとにジムのプールで2km泳ぐのよ」

「そっかあ。でもね、姉ちゃん、ただ泳いだって身体は締まらないよ」

「どうして? 水の抵抗を受けるだけでも脂肪を燃焼させる効果があるっていうじゃない」

「確かにそうかもしれないけど、スピードが大切だと思うよ。ジショウカジキは時速108kmで泳ぐそうだよ。クロマグロは80km、あの大型のシャチでさえ55・5kmだからね。速いと思ってるオリンピックピック選手はわずか8kmなんだ。マグロの刺身が美味しいのは身が引き締まって、必要な脂肪だけが残っているからだよ」

「もうー、うるさいわねー。えらそうに。弟のくせに、何よ、そんなスーパーマンじゃあるまいし、魚に勝てるわけないでしょ。5kg減らせればいいのよ」

「俺、まだ食い足りないなあ。冷蔵庫にシューマイがあっただけど、もらって食っていい？」
弟は立ち上がり、冷蔵庫の扉を開ける。

「ああ、好きにすれば」

姉はその動作を恨めしそうに見る。

「姉ちゃん、ビールのあてにシューマイ食べるの止めたのか？」

「あたりまえでしょ。ダイエットしてんだから」

姉のその声は強がり聞こえた。

― 姉の目の前で弟はシューマイをぺつろと食べてしまいました。姉はそれをただ恨めしそうにながめるばかりです。今にもお腹の虫が泣き出しそうです。

「でもなあ、余計なことかもしれないけど、姉ちゃん、あまり無理しないほうがいいぜ。ダイエットして逆に身体をこわす女性もいるそうだから。バランスよく食べて、適度な運動を心がけるべきだよ」

「そんなふう心配してくれるなら、目の前でガブガブ食べないでちょうだい。ラーメン、シューマイ、ビールはすべてご法度なんだから。傍若無人に食べられると胃液が過剰に出て、胃に穴があきそうよ」

「ごめんね、ごめんねえ。ところで、こんな話、知ってる？」

「何よ？ 改まったえ」

「地球温暖化の影響が温州ミカンにも出始めていて、果肉と皮の間がブヨブヨになってしまっているそうだよ。これを浮皮うきかわって呼ぶそうよ。ブヨブヨは商品価値がなくて廃棄されるんだってさ。

農林水産省も品種改良に乗り出したみたいだぞ」

「そのブヨブヨとか、価値がないとか、棄てるとか、品種改良って？ 私に対するあてつけみたいじゃない？」

「違うよ、我慢も大切だけど、周りの環境や体質そのものにも原因があるってことさ。溜まると良くないと言われている悪玉コレステロールの基準値も緩和されるよ。知ってる？」

「何よ？ それ」

「悪玉の上限値は従来119だったものが、姉ちゃんの歳だと152まで緩和されるのさ。だから多少数値が高くても日常の生活ができてれば、健康だと判断していいの」

「ふくん。でも、この段差は気になるものよね。ああ」

そう言っ姉は下腹をなでながらため息をついた。

― 姉はランニングや水泳の後のアイスも止め、ビールについてはノンアルコールさえも止めた。こうして適度な運動とバランスのよい食事を月末まで心がけた姉は恐る恐る体重計に乗ります。

「どうしてよ！ あれだけランニングして泳いで、おまけに大好きだったケーキもチョコもラーメン、シューマイまでもすべて我慢してきたのに？ 何よ、わずか1kgしか減ってないわ。体重計、壊れてない？ いやだあ！ これじゃあ、素っ裸の状態と変わらないわ。ジムの会費だって払ってきたのに。もうー！」

それを横で見ていた弟は、

「体質なんだよ、姉ちゃん、体質改良だと思って諦めずに続けるしかないよ。継続は力なりって

言うじゃないか」

「ああ、もういや！ 品種改良だなんて。あんたはねえ！ 何てこと言うの！ それでも血を分けた姉弟なの?! 私がどれだけ我慢してきたことか。この！」

「違うよ、体質改良だよ！ 体質！」

「もうー、いや。誰か私を月へ連れてって!!」

姉は絶叫します。

思わず弟は、

「どうして？」

「学校で習ったでしょ。月では重力が地球の10分の1しかないの。だから、いくら食べても軽いままですらられるのよ！」

「違うよ！ 姉ちゃん、6分の1だよ。脳ミソまで軽くしちゃあ、だめだってばあ」

ダイエット中の人へ

体重計は「体重を測る」ものではなくて、「努力を測る」ものです。

お釈迦様の矛盾

カンダタがふたたび地獄へ落ちてから、数日が過ぎました。

天国は、平穏で暖かい昼下がりでした。

がしかし、お釈迦様は机上に積み上げられた住民基本台帳をにがにがしく眺めておりました。

天国の住民が増えすぎて、食糧問題、住宅問題や環境汚染問題が発生し始めたからでございませう。

蓮の上には、1匹の蜘蛛が止まっていました。

お釈迦様はその蜘蛛を見つけると、カンダタのことを思い出されたのでした。

あるとき、糸が切れないで地獄の亡者たちがこの天国へ転居して来ていたならば、状況はもっと

悪化していたことだろうと。

ここで、お釈迦様はピンと閃きになりました。

カンダタは天国にとつて善いことをしてくれただ。

お釈迦様は慈悲深い笑みを浮かべて、こう思ふのでした。

カンダタにもう一度、チャンスを与えてやろうと。

(現代 35 お釈迦様の矛盾より)

働かずして金持ちになる方法

すでに日本は超少子高齢社会になっていた。若いときから働き、使いきれないほどの金を貯め込んではいないが、血縁、地縁、社縁の途絶えた3無縁の老夫婦世帯が人口の7割以上を占めていた。

ある朝、婦人が朝刊を取ろうとドアを開けると、道路に通じる階段に若者が座っていた。リビングへ戻り、婦人は夫に告げた。

「見かけない若い男が階段に座ってますよ。会社員だと出勤する時刻ですけどね」

夫は朝刊を受け取り答える。

「誰か連れを待っているのだろ。放っておけ」

若者は昼になっても、夜になっても座ったままでした。

次の朝、婦人が朝刊を取り出ると、昨日と同じ場所に若者は座ったままでした。

「どうかしたのですかねえ。丸一日、あの場所に座ったまま、何だか気味が悪いですよ」

「夜には家へ帰って寝たんだろうよ。朝露に濡れるのはつらいもの」
夫は気にもしていないというふうに答えます。

その日、老夫婦は近所のスーパーへ買物に出かけました。夫は不自由な脚をかばうように杖を突いています。そのときも若者は座ったままでした。帰りに婦人が若者にそつと声をかけましたが、黙って真正面を見据えているのみです。座っている周りには何かを食べたり、飲んだりした形跡は見当たりません。

4日が過ぎようとしていました。もちろん、近所ではこの若者が問題視され、老夫婦も警察へ通報しました。警察は若者を連行しましたが、逮捕する理由などありません。数日後、若者は再び例の階段に座っていました。雨の日も猛暑の日も座ったままでした。

「何も食わず、飲まず、何か修行をしているのかねえ？ そのわりには服装が現代風だけどね。あれじゃあ、骨と皮になって、早晚、死んじまうよ」

夫はこう言って、婦人がこの若者に何か施しをしないようクギを刺しました。でも、先に死んだのは夫のほうでした。葬儀の日も若者は階段に座ったままでした。

独居老人となつてしまい、話し相手もいなくなった婦人は心寂しさに負けて、とうとう見過ごすことに耐え切れなくなり、亡夫の言いつけを破り、若者にパンと牛乳を施しました。礼を言うことなく、若者はぺろりと食べつくしました。婦人は毎日、三度の食事を運びました。

ある日、階段から若者の姿が消えました。婦人が室内へ招き入れたのです。婦人は若者に小奇麗な服を着させ、十分な食事を摂らせました。そんな数カ月後が過ぎた頃、婦人は死んでしまいました。天寿を全うし、老衰でした。

身寄りのない婦人の遺産をめぐって近所ではうわさが飛び交いました。しかし、他人が心配すべきことは何も起こりませんでした。というのも若者は養子縁組を結び、すべての財産を継承していたからです。

このことが事実として確認された次の朝から、街中の独居老人のドアの周辺に若者が座り続ける光景が見られるようになりました。
(現代7より。)

幸せな気分にしてくれる香

― 正月休み、普段は就寝中である時刻にM博士はドーデモイイ・テレビ局の教養番組を偶然視聴した。画面にはアメリカの有名大学で人間の幸福度を測定している教授の熱血講義が放映されていた。

教授：人間の幸福度を測るということが学問になるくらいですから、世界には幸福を実感できない人たちが多数、いや無数にいるということです。これまで幸福というものは相対的なものであって測定などできないものと考えられてきました。いわば人が神や仏を信じるか否かという精神論と似たような議論に終始しがちだったのです。しかし、今や幸福度を科学的に解明すべく心理学、社会学、脳科学など学際的な研究者たちが互いに融合し合って、ある共通の尺度を作り上げました。

経済力や周囲の環境は人間が幸福を感じるときの絶対条件ではありません。では平均的な人間が幸福を感じるときの条件、つまり「幸福の条件」とは何でしょうか。ずばり、その条件とは、次の3つです。

1. 人と交わる↓ 社会的なつながりのことです。
2. 親切心↓ 他人から感謝されることです。

3. ここにいること↓ 眼の前のことに集中することです。

― 提示された3つの条件は逆に言えば、これらの条件を充たせない人間が多数、いや無数にいるということですよ。番組では、一部の薬品会社がこうした条件を感じさせる薬品の開発に着手していること、さらにこの条件を充たすような組織作りをしている会社が紹介されていた。

M博士：そうかあ。これは金になるぞ。この3つの条件を感じさせる薬品を開発しよう。人畜無害な薬品であれば、役所の審査も通過しやすいだろう。何か、いいアイデアはないかな。

― 「人と交わる」とは社会的なつながりを維持するということですよ。「親切心」とは他人に、お・も・て・な・し、の姿勢で接し、感謝されることです。「ここにいること」とは直面している問題に精神を集中し、それを解決し達成感を得ることですよ。

M博士：いくら文献を読んでも、いいアイデアが浮かばない。誰かからアイデアをもらおう。

― さて、それからM博士は友人のAさん、その友人のBさん、そのまた友人のCさん、……、と紹介してくれる研究者たちにはすべて逢って、アドバイスを受けました。そんな中でH博士を訪ねたときでした。

H博士：私は金の回りを良くして景気を良くする薬品を開発しているのだが、何かいいアイデアはないかね。

― と、逆にM博士はアドバイスを求められました。

M博士：そうですね。以前に読んだ星新一のショートショートの中にお金を手放したくなる人畜無害な薬品のが書かれていましたね。その薬品は悪臭を放つ霧状のものでシュシュとお金に吹きかけておくと、そのお金を手にした人はその嫌な臭いで、すぐにお金を手放そうという気持ちになるそうです。どうでしょう。そんな嫌な臭いのする薬品を開発してみれば。アイデアはショートショートの中にあります。

H博士：ご親切に、ありがとうございます。参考にさせてもらいます。感謝します。

M博士：感謝していただいて恐縮です。うれしいです。

― 講義にあつたように、人と交わること、感謝されること、これらが幸福ですよ。しかし、M博士は薬品開発に邁進しますが、開発は一向に進展しません。人畜無害でないと多くの人たちに買ってもらえないし、感謝もされません。悩んでいても時間は過ぎるばかりですよ。

M博士：そうだ、期限を決めよう。あと1年がむしやらに頑張つて、だめならばこの野望はきれいさっぱりと捨てよう。人畜無害な薬品、人畜無害な、……う〜ん。

― そんなある日、コーヒーカーップを手にはぼんやりと庭の木瓜ぼけの花を眺めていると、アイデア

がピーンと閃きました。M博士はかつて自分がH博士にしたアドバイスを思い出します。

M博士：そうか。人畜無害であれば、花の精分、花の香がいいかもしれない。嫌な臭いでお金を手放す人もいるくらいだから。花であれば、誰でも嫌がらずにその香を嗅ごうと鼻先を近づけるものだ。これはいいかもしれないぞ。

「人と交わる↓ 社交性がある」花は？

「親切心↓ 感謝される」花は？

「ここにいてること↓ 集中する」花は？

これらに該当する花、花、花は？ ……薔薇は純愛、……月桂樹は栄冠……。そうだ、花言葉から探そう。

— これを思いつくまでにずい分、時間を浪費しました。早速、M博士はネットで逆引き花言葉を検索します。「人と交わる、社交性がある」花は、……交際を表現するものとして、ブルバディアがあることを知ります。「親切心、感謝される」花として、女郎花（オミナエシ）がありました。「ここにいてること、集中する」花は、集中力ということであれば、レンギョウでした。これらを花屋で調達し博士はこれらの精分、香を抽出し改良を加え混合します。自分で決めた開発期限は刻一刻と迫っています。

M博士：ブルバディアとオミナエシの混合物は心を和ませ幸福を感じさせてくれるいい香だ。しかし、これにレンギョウを加えても幸せを感じない。集中力を高めるのであれば、花よりも覚醒作用のあるカフェインがいいかな。そうだ、コーヒー豆のカフェインを加えてみよう。

— しかし、コーヒー豆のカフェインを加えても、うまくいきません。

M博士：（コーヒーカップを手に）この香を嗅いでも幸福を感じない。達成感がしない。眼が冴えて活動的になってしまっただけだ。（ズルズル〜ズル〜、と一口飲んで）やはりコーヒーは飲むに限るな。美味い。どうやら最後の「ここにいてること、集中すること」が一番厳しい条件のように思える。せめてあの講義の続編があれば何か開発のヒントが得られたのだが……。

— テレビでは、この熱血講義が毎週土曜日に放映されるシリーズものであることをしつかりとアナウンスしていました。M博士はそのプロローグを視聴しただけで、続編があることを知りませんでした。何事も目の前にあることに集中して取り組まないと無駄な時間を過ごしてしまうのです。どんな人間にも、この3つの条件はちぐはぐで充たされることはありません。一つでも充たす瞬間があれば、自分は幸福者だと思いたしましょう。

(付記) この拙文は1月4日（土）の夜、NHKで放映されたものをヒントにして書きました。星新一、2013、「景気のいい香り」『つぎはぎプラネット』新潮文庫、264〜266頁所収。（現代 16より）

中国へ

— 極超音速兵器実験。

何が、怖いのか??

(注。『朝日新聞』2021年10月29日参照。)

誰の勝ち?

- A おお、俺の好きなチョコだ。
- G 待て！俺が先に見つけたんだぞ。
- A 俺が拾った！
- H まあ、待ちなよ。見つけたのは君だろ。拾ったのは君に違いない。でも、食べたいのはこの僕さ。

タウンミーティング

― 司会者: 今日の議題は景気対策です。どう景気を良くするのか。早速、財務大臣の私見を伺いたいと思います。大臣、どうぞ。

大臣: えへん。景気を良くするためには何といつても金の回りを良くしなければなりません。

出席者A: どうすれば、金の回りは良くなりますか?

大臣: 大臣に就任して以来、私は山に籠り、ときには滝に打たれながら対策を考えてきました。三日三晩、寝ないで、食べるものも食べないで……酒も飲まないで……座敷牢に引きこもったこともあります。

出席者B: (そんなことはどうでもいい) さて、どんな対策でしょうか。お聞かせください。

大臣: えへん。よろしいかな。簡単です。えへん、えへん。いま、皆さん方の財布に入っているお札の余白にご自分しか判らない暗号を記入していただきたい。その暗号を政府へ届け出ていただきます。えへん。

出席者C: 暗号ですかあ。で、それから。

大臣: そのお札で何かを買っていただきたい。できれば旅行なんかに行かれて、北海道の方は九州・沖縄で、九州・沖縄の方は北海道で何か土産でも買ってもらいたいですな。

出席者D: それで金の回りは良くなりますか。

大臣: ただ金を使っただけでは景気は良くなりませんぞ。金の回りを良くしないといけません。旅行先で使った暗号付のお札が次にいつご自分の手元に戻るのか、この日数をカウントしようではありませんか。ご自分の付けた暗号以外のお札が手元に来れば、必ずそれで買物をしてください。そして、できるだけ早く手放してください。

出席者D: それで金の回りは良くなりますか。

大臣: まだ、だめです。暗号の付いたお札に有効期限を設けます。いつまでも他人のお札を持っていけば、それは有効期限を過ぎるとただの紙くずとして破棄します。消費期限の切れた食品を破棄するのと同じ発想です。古いお札など他人の手垢が付いて不潔極まりないじゃないですか。えへん。よろしいでしょうか。

出席者E: 紙くずにしちやえは、お札の流通量が減って金回りが悪くなりませんかね。

大臣: えへん、心配、ご無用です。次なる対策は考えてあります。えへん。紙くずになった3倍のお札を日本銀行が発行する予定ですから。この点についてはすでに日銀総裁との間でアコード、つまり政策協定が結ばれています。えへん。えへん。

出席者F: それじゃあ。当初より日銀にお札を増刷させて流通させるべきでしょう。

大臣: いやいや、それではだぶつくだけで、金の回りは良くなりませんぞ。景気を良くするには

金を回すことを優先すべきなのですよ。えへん。
出席者たち……?? パチ、……、パチ、……、パチン。

数独本

「積つんどく」だけ。

詐欺メール用語の基礎知識

「デバイスって、コントローラって、シグネチャって、チャットって、マルウェアって、トロイの木馬って、アップロードって、ビットコインウォレットって、グーグルって……」年寄りには解からんぞ！ 詳しい用語解説をつけろ！

ボケ

― 詐欺メールが届いた。

「送信先を間違ってますよ」と、丁寧に返信してあげた。

「すみません」という返信が来た。

←

― また、詐欺メールが届いた。

「文面を丁寧に校閲して」返信してあげた。

「ありがとう」という返信が来た。

←

― またまた、詐欺メールが届いた。

「ぜひ、続編を送って来てください」と、丁寧に返信してあげた。

「了解です」という返信が来た。

←

― またまたまた、詐欺メールが届いた。

「日本語表現講座」と「小説家養成講座」への入会を優しく勧めてあげた。

「検討してみます」という返信が来た。

←

― またまたまたまた、詐欺メールが届いた。

「特殊詐欺撲滅エッセイ賞」への投稿を強く勧めてあげた。

「やってみます」という返信が来た。

←

― またまたまたまたまた、詐欺メールが届いた。

「投稿へは実名でしょうか」と訊かれた。

「はい」と返信した。

←

それ以降、メールは届かなくなった。残念!! 寂しいくくなあ。

詐欺師相手のサービス業

校閲業者: その文面、校閲します。100字当たり、5千円。

フリーライター: その文面、代筆します。400字当たり、1万円。

劇団指導者：その電話対応と芝居を指導します。1分当たり、5千円。
整形医：その人相、変えて差し上げます。二重瞼、8万円。

とんま

— ある著名な作家が盗作（名誉毀損）容疑で訴えられた。罪状はメールに届いた架空請求詐欺の文面をそっくり小説に転載したこと。

裁判官：原告へ。この文面はあなたが間違いなく作成したものです。

原告：はい！間違いありません。私が作成したものです。

裁判官：被告人（作家）へ。盗作は事実ですか。

被告：はい。すべて盗作しました。

原告：（口元をニツと歪めて笑った）

裁判官：では、判決を言い渡します。

— 裁判官の声が止むと、警察官たちは原告に手錠をかけた。

作家は感謝状を受け取った。

続編をお待ちしております

職場のパソコンに詐欺メールが届いた。送り主はウイルスを使い私のパソコン内へ侵入し、私のあらゆる個人情報を入力したという。スマホ内の情報までも入手したそう。変だなあ？私はガラケーしか持つておらず、それはネットへの接続ができない。なので、他のパソコンへ情報を送ったこともない。メールと電話にいたっては家族内のみで交信できる契約である。

送り主は手に入れた情報を使って、私から金を巻き上げたいようだ。その主が私を脅す情報とは、どうやら私は職場のパソコンを使いネット上の卑猥な画像を見ては〇〇行為に耽っているらしい。この画像を公開して欲しくなければ、金をよこせ……。

パソコンに向かう人物の顔を別の所から写し撮る技術があることは知っていたが。もちろん、仕事中にネット上でそんなサイトにアクセスをしたことはない。そんなに暇じゃない。どだい、この年寄りにそんな元気は残っていない（笑）。さらに、私はネット自体をほとんど利用しない。また職場のネット環境では、そんなサイトへはアクセスできないように設定されている。

届いた文面の拙さを笑う前に、なぜ私に送りつけてきたのか、を考えてみた。理由は簡単だ。職場のメールアドレスは仕事の関係上、公開されている。ウィキペディアには私の簡単な氏素性も紹介されている。なので、いかなるメールもやろうと思えば、いくらでも送りつけることができる。ただし私のパソコンは優秀なので、この種のメールは必ず迷惑メールボックスに届く。私は基本的に、このボックスは開かない。即、削除している。それでトラブルことはない。今回、誤操作で偶然、開いてしまったのだ。なので、短期間に届いた4件のメールの最初のもは削除してしまっていた。こう語尾を書くと、なんだか残念そうに聞こえるが、本心は残念なのだ。

きっと同一人物が送ってきているのであるが、私はその下手くそな内容と稚拙な文章力に興味を湧いてきて「他人を上手に騙す文章の書き方」を考えるようになっていた。（ある女優が言っていた。「上手に他人を何度でも騙せる詐欺師の演技力を見習いたい」と）これは創作活動にも繋がるから。そう、これを良質の（読者を上手に欺く）ミステリー小説にしたいのだ。メールの内容と文面を一部改変（善）して、いや全文をそのまま掲載してもいい。まさか、送り主の目に留まっても、「盗作だ！」とは声も上げづらいだらう（笑）。我ながらうまい所に気が付いた、と思う。

だから続編が届くのを、首を長くして待っているのだが、私が邪険にしている（返信しない）

ものだから、届かないのだ。送り主はカモを変えたのかなあ？ 私はただただ悔しい！

新聞に載せて欲しいスクープ

ヒグマを襲うシヤケの大群。
ネギ畑に飛来するカモの大群。
空を旋回しているうちに目を回すトビ。
ホバリングに疲れて落下するヒバリ。
カエルを飲み込めず、顎を外したままのヘビ。
ヘビを襲うカエルの大群。
お玉じゃくしを手なずけるヘビ。
露天風呂に入る熱帯魚。
鯛になろうと頑張っている出目金。
インパラを育てるライオン。
スピードを自慢し、獲物を追い越してしまうチーター。
最も長寿だった蟻ンコの生きた時間数。
象に踏まれても潰れない蟻ンコ。
巣穴から一番遠く離れた場所からエサを運んだ蟻ンコ。
女王蟻から一番褒められた蟻ンコ。
紅から緑に色づくモミジ。
白色アスパラになりたいモヤシ。
クジラの体内から脱出するイワシの大群。
クジラに目潰しを食らわすプラントンの大群。
ウサギとエリマキトカゲの徒競走。
エベレストからの駆け下り競争。
お賽銭のお釣りを要求する人。
お賽銭の領収書を要求する人。
オレオレ詐欺師との電話対応を楽しむ老人。
結婚と離婚を繰り返す回数、世界一のチャンピオン。
オナラの連続こき回数、世界一のチャンピオン。
オナラの臭さ、世界一チャンピオン。
嗅屁器かぐへきわを開発している人。
口の開口面積の大きさを自慢する人。
耳たぶの大きさ、重さを自慢する人。
どちらが先に飛べるのかを競っているペンギンとヤンバルクイナ。
ロブスターになろうと努力をしているアメリカザリガニ。
（松葉）杖を突くように歩いている松葉ガニ。
クジラになることを夢見ているメダカ。

応用力

勉強の好きでない学生をいかにして鼓舞するか。
これは上等なミステリー小説を書くことに通じる。

そう、いかにうまく騙すのかということ。

労務管理論

学生 先生。廊下で事務の職員が教室を覗いて回っていますよ。

教授 ちゃんと授業をしているか、チェックをしているのですよ。中へ入って一緒に勉強しまし

ようって伝えてください。組織を運営するときのノウハウが身に付くでしょうから。

学生 この大学の事務つて、暇なんですなあ。

教授 でしょうなあ。ときどき、授業前に無言電話をかけてもいるそうですよ。

詐欺メールの活用法

― 送り主の知能の低さを知った上で、今後、無視することにした。

下手くそな日本語の教材として使う。

他人を騙す文章を書くアイデアを探る。

「詐欺メール 小説のネタとして受け取る」

以下の文面《》は、2021年9月4日(土) 13:30にわたしの職場のPCに届いた詐欺メールの内容です。

送り主さんへ。とても残念ですが、この文面では他人を騙せません。言葉は自分が身に付けられるものの中で最も重要なものの一つです。たった一つの言葉を発したばかりに、その人の心の裏側まで見えてしまうこともあります。

詐欺の文面といえども、小説や芝居と同じで、読んだ後に、観た後に、沸々と心に響いてくる情景、そんな言葉で構成すべきです。いい加減な気分で言葉をもてあそばないでください。自分が使った言葉たちに責任を持ってください。日本語が大泣きしていますよ。たとえ詐欺であったとしても後世に残る文学的価値のある文章を作成しましょう。

公開するに当たり、原文にある拙い言葉と表現をわたしなりに修正しました。数文字を加筆した文章、文章そのものを移動させた箇所もあります。より、適切な改行をし、句読点も直しました。語句の統一もしました。また、不用であろう言葉と文章は削除しました。でない、と、文意が通じません。こうした作業をした結果、かなり読み易い文章になっている、と自負しています。

以下は校閲後の原文です。

《悪いお知らせがあります。

数カ月前にあなたのデバイスにアクセスしました。

私はあなたの秘密をたくさん知っています。

私は、あなたがインターネットにアクセスするために使っているすべての機器のOSにトロイの木馬ウイルスをインストールしました。このソフトウェアは、あなたのデバイス上のすべてのコントロールにアクセスすることができます。

あなたの情報、データ、写真、閲覧履歴をすべて私のサーバーにアップロードすることができます。

あなたのすべてのデータ、メッセージ、ソーシャルネットワーク、メール、チャット履歴、連絡先にアクセスできます。

あなたの通信簿や個人的な写真、すべての秘密のデータをインターネット上に掲載することもで

きます。

ただし、私のウイルスはシグネチャを更新し、ウイルス対策ソフトからは見えなくなっています。

あなたの情報を集めているうちに、あなたがアダルトサイトの大ファンで、中毒性のある動画を楽しみながら見ていることがわかりました。

あなたがオナニーをしてオーガズムに達するという、あなたの汚いシーンをなんとか録画しました。

私が数回クリックするだけで、すべての動画が知り合いに表示されます。

これはあなたの評判を永遠に台無しにしてしまうかもしれません。

あなたが好きなビデオの仕様を考えると（よくわかっている、と思いますが）、それはあなたにとって本当の意味での災難となるでしょう。

次のように解決しましょう。ここに私のビットコインウォレットがあります。（原文には数字とアルファベットの混ざった42文字がある。）このメールを開いた瞬間から3日以内に、あなたが私

に131918円（JPY）（送金時の為替レートでビットコイン換算）を送金してくれば、私はこの汚れをすぐに取り除きます。その後はあなたのことを忘れてしまいます。また、（お客様

原文）あなたのデバイスからすべてのマルウェアを無効にして削除することをお約束します。私はいつも約束を守ります。

送金がない場合は、あなたのビデオと詳細情報がインターネット上に公開され、すべての人とあ

なたの愛する人が見ることができません。もう一度書きますが、あなたの評判を永遠に台無しにします。

私を探そうとしないでください。警察やその他のセキュリティ機関に連絡しようとする、あなたの詳細が公表されてしまいます。

自分の評価を意識する（まったく意味不明な原文だ）。

……》

これ以降は、わたしからのコメントです。

残念ながら、……に続くであろう文面はプリントアウトに失敗し、手元にはありません。冒頭に記したことからも察しがつくように、まずはちゃんとした日本語を書いて欲しい。原文はあまりにも幼稚すぎました。他人に送りつけてくるわけだから、読んでいただくという気持ちを含めて書くべきです。句読点の打ち方、改行する場所、選ぶ言葉にもっと気を遣って欲しかったです。送り主さんの国語力は100満点の5点です。

この原文を読んだ瞬間、腹立ちを覚えました。それは、この文面を読んで騙される人間がいるのか、と。見も知らない他人をウソで、騙したいんだろ？ じゃあ、日本語だけでもちゃんと書きなさいよ。日本人として恥ずかしいです。

日常、文章を書くことを生業としている身からすると、こんな国語力は許せません。そんな思いつから修正をしてみました。修正すべき日本語が多すぎて、わたしがどれほど時間と労力を費消したとか。できれば校閲料を払っていただきたいです。

威張るようですが、わたしは完璧なネット音痴です。原文にあるネットやそれに関わる専門用語の意味は十分に解していませんし（用語解説を添付して欲しかったです）、パソコンの操作にも長けていません。その上で書き続けます。

送り主はわたしの個人的な情報をどこまで知っているのかな？ 職場のメールアドレスは仕事の関係上、公開しています。ウィキペディアにはわたしの簡単な氏素性も紹介されています。や

ろうと思えば誰でもどこからでも迷惑メールを送りつけてくることができます。事実、海外の研究者からも仕事関係のメールが届きます。

わたしが使用しているガラケーはネットへの接続ができません。またメールと電話は血縁者間での交信のみができる契約になっています（今どき、こんな利用者がいるかい？ 陸上のシィラカンスです）。なので、ガラケーと職場のパソコンは繋がっていません。職場のマシンを使って、いわゆる仕事外の友人にメールを送ったこともありませぬ。通信手段は万年筆を使い手書きの手紙です。未だにアナログ人間です。そんな頑固で立派な社会性を身に付けて生きています。

わたしのメールアドレスのアカウントからして、送り主はわたしが最高学府に所属していることとは分かっているはずですよ。そこからわたしのやましい行為（？）を類推し、その羞恥心にすがって金を脅し取ってやりたかったのでしょうか、この種の行為についてわたしは実に寛容ですよ。他人に知れてどこがやましい（？）のですかね？ 生き物であることを証明する行為じゃないですか。たとえ、その行為を見られても平気という人間もいますし、その行為が知れたとしても送り主にはなんの迷惑もかけていません。他人のお愉しみに干渉することはないですよ。あんたもやましい行為をしてるでしょ。あんたにとつてこのやましい行為は恥ずべき行為なのかな？ あんたも親のその行為のおかげでこの世に生を受け、こんな悪事を働いているわけですよ（親が聞けば、きつと涙を流しますよ。この親不孝者！）。昔のエロ本がネットに代わっただけです。そう理解しましょう。紙の書籍がデジタル化しただけです。個人が愉しむ限りにおいてネット上で観賞してなにが恥ずかしいのですかね。健全かつ元気な証拠です。大いに愉しんでください！ としか言いようがありません。他人のそんな愉しみを盗み見ている送り主の方がよっぽど異常体質じゃないですかねえ。

かなり以前にある著名な研究者が盗撮容疑で逮捕され、その家宅捜査をするとその手の物品がごろごろと押収されたことがありました。そんな報道に接しても「あの方の「趣味だったんだあ」と自然に受け入れました。それを中毒だなんて考えたこともありません。他人に迷惑をかけないご趣味を他人が批判などできるわけがないじゃないですか。

この手の脅しが有効に実を結ぶための必要十分条件を伝授しましょう。それは受け手であるわたしの側になんらかのやましい行為（？）があつて、それを送り主が事実として握っていること、それを公開されることにわたしがビビッテいることです。例えば、浮気の現場写真のようなものです。ところが、脅しの対象はわたしには全く身に覚えのない行為であつて、送り主はその事実すら握っていないようです。握っているなら、わたしが写っている映像の一部をわたしに見せてください。ぜひ、見てみたいです。わたしは恍惚感に浸る自分の顔を見たことも想像したことはありませんから（笑）。

そもそも職場のネット環境では、そんなサイトへはアクセスできないよう設定されています。また、多忙な日々、そんなサイトへアクセスするほど暇じゃないんですよ。さらに、数年後に傘寿を迎える身にはそんなお愉しみはとうの昔に終わったことです（本心は寂しいのだぞお）。こんな小説仕立ての文章を書いている方がはるかに愉しいですよ（この原稿も愉しんで書いています）。

最後に、送り主へ苦言を呈しておきます。まず、ご自分の能力の無さを真剣に猛省しなさい。この仕事（趣味？）はあんたには不向きですよ。プロとしての気概も感じません。それを承知で続けたいのであれば、以下の助言を参考にしてください。きつとお役に立つと思います。

他人を納得させる言葉を伝えることは並大抵の努力ではできません。ましてや受け手にとって事実無根で、かつでつち上げたウソ話を納得させるわけですから……。ネズミを見てゾウと言わせるようなものです。現状の能力では善良な他人から金を巻き上げられません。寄付すらされな

いでしよう。

まず、他人が読んでくれる文章を作成できる文才と、社会人力を高めることに自己投資をなささい。自分にもっともつと金をかけなさい。その方法として、たくさん活字を読みなさい。ただ読んでいるだけでは成長しません。言葉の裏にある真意を想像しながら心を込めて読みなさい。年間、300冊も読めば十分でしょう。他人を騙して金を巻き上げたいのであれば、これくらいの辛抱はしましょうよ。できなきや、足を洗うべきです（この意味、解ってもらえるかなあ?）。世の中はグローバル化しています。そう、世界を目指しましょうよ。この際、英文で詐欺文を書いてみましょう。そうすれば、対象とする獲物の範囲はぐんぐんと広がります。どうか、チンピラではなく、世界に名を残す詐欺師になってください。期待しています。その処女メール(?)を讀ませていただいたわたしは幸せ者かもしれませんね。

原文をどこかへ公開されたとして「それは俺が書いたものだ。盗作だ！」と名乗り出られますか？ 書いたものは残り、誰かに読まれますよ。原文を下手くそな文章の教材としても使われますよ。なので、自分が書いた言葉には責任を取ってください。取れないから、また己の諸々の能力(人間力)のなさを指摘されたくないから、無名で送りつけてくるのでしょ。堂々と、実名で送ってこられるよう、まずは文才を磨きなさい。ぜひ、「日本語表現講座」や「小説家養成講座」に通って、うまく他人を騙す言葉選びと文章の構成の仕方を勉強してください。その成果を続編として送っていただけると読ましましょう。読ませてください。あなたの成長ぶりを確認してみたいです。そして、わたしの原稿用紙の空欄を埋めるネタにしたいです（今も大いに助かっています。ありがとうございます）。

世にはびこるといふ詐欺師の文才がこんな低レベルであつて、こんな下手くそな脅し文句を讀まされたわたしはただただ悔しいです。日本人として、日本語に対して謝罪したい思いです。どうか日本語をもっともつと大切に扱ってください。小学校で漢字、平仮名、カタカナを習ったときのまっさらな気持ちで日本語に接してください。その上でもっと綺麗で、しなやかな日本語を書いてください。読者をうまく騙し、「うーくん」と唸らせるような上等なミステリー小説のごとく読ませてください。受け手をとことん愉しませてくださいよ。それは文章を書く者の責務です。こうしたご教示は送り主にとって能力の外にあるかもしれないかもしれません。努力する能力すらないかもしれません。そう不可能でしょう。しかし、不可能の反対語は『挑戦です』。ぜひ、挑戦してみてください。

この校閲文を送り主へ返信してあげられないのがとても残念です。どの受け手もそんな立場にいるをご理解していただいて、書かれた文面はよく推敲されてから、あるいは(警察官に)校閲してもらってから送りつけてきてください。読んでいただくわけだから、読み手にも敬意を払いましょう。

あの日以来、わたしは迷惑メールボックスを開く癖がついちゃいました。
(いつになったら届くのかなあ。) 続編を待ちきれず、こんな川柳を作っちゃいましたよ。

// 詐欺メール 知能の低さ 曝け出す//
// 下手くそな 詐欺メールを 校閲す//
// 詐欺メール 続編途絶え 日々寂びし//
// 詐欺メール 続編来ずに 筆止まる//
// 続編を 待ちくたびれて 筆を折る//
// 詐欺メール 返信できず 悔い残る//

付記。 詐欺メールから受けた教訓。

1. この手の詐欺師は賢くない。
2. 返信してはいけない。
3. 内容を他人と口頭で共有し合うこと。
4. これで騙せるのか？という視点から読むこと。
5. できれば教材として使ってみること。
6. 小説を書くときのヒントにすること。
7. 得がたい情報なので、とにかく自分の役に立つよう処理をすること。

校閲 詐欺メール

説得力のある文章を書くには、その類の文章を読み込む訓練が不可欠である。身の周りにあるそうした文章を探してみたが、適切なものがない。さらに探すにも時間がかかる。逡巡していると、この世で最も説得力を必要とするであろう文章が届いた。渡りに船である。

以下の《》は2021年6月16日(水)11:23に職場のパソコンに届いた詐欺メールの原文です。もちろん「件名なし」、「送信者名なし」です。

原文は改行のルールが統一されていないし、言葉遣いは幼稚すぎるし、とても読み難い。そこで、校閲してみました。改行ルールだけは筆者が統一しました。文頭にある数字は原文どおり改行ごとに付けました。全24行です。

《1》「挨拶。

《2》これが最後の警告です。

《3》あなたのシステムは危険にさらされています。

《4》すべてのデータはお客様のデバイスから当社のサーバーにコピーされています。

《5》また、あなたのカメラから記録された、あなたがポルノを見ているビデオもありました。

《6》あなたが最近アクセスしたアダルトサイトを通じて、私のウイルスがあなたの端末に感染しました。

《7》仕組みがわからないという方のために、その詳細をご紹介します。

《8》トロイの木馬のウイルスは、あなたの使っているデバイスへの完全なアクセスとコントロールを可能にします。

《9》その結果、私はあなたの画面全体を見ることができ、あなたのカメラとマイクをオンにすることができ、あなたはそれに気づかないでしょう。

《10》私はあなたの画面とカメラデバイスのビデオキャプチャを実行し、画面のある部分にはあなたが自慰行為をしているビデオがあり、別の部分にはその時のあなたが開いたポルノビデオをマウントしました。

《11》私は、あなたの携帯電話やすべてのソーシャルメディアから連絡先の全リストを見ることが出来ます。このビデオをあなたの電話、メール、ソーシャルメディアの連絡先リスト全体に一瞬で送信することができます。

《12》また、メッセージャーだけでなく、メールからみんなにデータを送ることもできます。

《13》私はあなたの評判を永遠に破壊することができます。

《14》このような結果を避けたいのであれば

《15》16449 JPY (円) を自分のビットコインウォレットに送金する

《16》この方法がわからない場合は、Google の検索ボックスに「ビットコインの購入」と入力し

てください。

〈17〉私のビットコインウォレット（BTCウォレット）…原文には42の数字とアルファベットがある。

〈18〉支払いが完了した時点で、あなたのビデオを直ちに破棄し、二度とあなたに迷惑をかけることを保証します。

〈19〉50時間（2日強）以内にお支払いを完了してください。

〈20〉このメールを読むと自動で通知が来る。同様に、現在のメールを読んだ後、タイマーは自動的にオフになります。

〈21〉財布が追跡しないように、手紙が来た場所からのメールは、追跡されず、自動的に作成されますので、どこにも文句を言おうとしないでください。

〈22〉このメールを誰かと共有しようとする、システムが自動的にサーバーにリクエストを送信し、サーバーはすべてのデータをソーシャルネットワークに送信するように進行します。

〈23〉ソーシャルネットワークやメール、デバイスのパスワードを変更しても、すべてのデータはすでに私のサーバークラスターにダウンロードされているため、役に立ちません。

〈24〉頑張つて、バカなことはいらないでね。自分の評判を考えてみてください。》

以下に校閲します。〈数値〉は行の番号です。

〈2〉「最後の警告です。」これは唐突すぎます。受け手にとっては詐欺の処女メールです。これまでに受け取った記憶はありません。また、「警告」は変です。受け手は何も悪いことはしていません。以前に送信したのであれば、しっかりと書きましょう。そして目的からすると、「**以前にメールを送りました。まだ、送金されていません。**」が適切です。

〈3〉「あなた」と〈4〉「お客様」。語句をどちらかに統一しましょう。送り主のアドレスアカウントが.comなので（ここには記しません）、また「当社の」という紹介があるので会社として詐欺の悪事を働いているのかな？そうであれば、「お客様」が妥当です。でも、色んなことを偽って悪事を働いているでしょうから、やはりどちらかに統一すべきです。

〈5〉「また、」は不用です。「**コピーの中には、**」とすべきです。

この〈5〉と〈6〉の情報は受け手にとって重要です。観てもいない映像と、してもいない行為をあたかも事実であるかのように描きましょう。ここがモチーフとなり、腕（文才）の見せ所です。送り主の人格が曝される場面でもあります。

〈7〉以降の説明には微かに感謝します。が、〈2〉との関係からすると変です。初回に送り付けたときに、説明しなかったのかな？それは置いておいても、受け手はド素人です。詳しく説明されるほど、理解が困難になります。もっと、簡潔にかつ平易に説明するよう心がけてください。

「・・・わからないという方・・・」ここは「・・・**あなただけに、**・・・」としましょう。「・・・方」とすると、同じ文面を複数のカモへ送信したかのように理解されます。対象は目の前にいる「**あなた**」だけを醸し出す表現が望ましいでしょう。

〈8〉「トロイの木馬のウイルス」。これも唐突です。例えば、「私はウイルスソフトであるトロイの木馬を使って・・・**あなたのデバイス（素人相手なので、パソコンと記すべきかな？）へ完全なアクセスをし、コントロールができます。**」と書き換えましょう。

〈9〉「・・・マイクをオンにすることができ」「の語尾は「できます。」「が、あなたはそれに・・・。」としましょう。あるいは、「その結果、私はあなたが気づかないうちにカメラとマイクをオンにして、あなたの画面全体をみる」ことができます。」と全文を書き換えましょう。

〈10〉「・・・ビデオキャプチャを実行し(ました。その)画面の・・・ビデオも見つけました。」としますかね？ただし、「ビデオキャプチャ」とか「マウント」は、素人には理解できません。あるいは、「私はあなたの・・・実行し、」を削除しましょうか？ 思い切って、「画面のある部分には・・・を見つけました。」と書くのが一番自然かな？

〈11〉「・・・見ることができません。」「(そして)」「このビデオ・・・送信することが(も)できません。」接続詞を入れ、(も)に変えましょう。

〈14〉「・・・避けたいのであれば()」「読点が抜けています。

〈15〉脅しの信憑性を確保するためにも、この金額の根拠を書くべきです。

「JPY(円)」。JPYか円のいずれかにすること。円が適切かもしれませぬ。

また、ビットコインによる送金の手順をフローチャートで説明すべきです。

「自分の・・・」この自分とは誰のことですか？ご自身のことであれば、「私の」としましょう。「・・・送金する()」「句点が抜けています。

〈16〉()の前の部分が抜けています。あるいは後ろを削除し、()は付けない。

〈17〉上記「自分の・・・」と、「この私の・・・」はどちらかに統一すべきです。「私」が望ましいでしょう。

〈18〉「支払いが・・・」は「お支払い・・・」と敬語にすること。

「迷惑をかけない・・・」は「()迷惑を」と敬語にしましょう。

「保証します。」は「お約束します。」が適切です。「保証」はこの種の文面では使用しません。

〈19〉「支払い」と「お支払い」はどちらかに統一すべきです。あるいは、「お支払い」は変です。受け手は自主的に何かを買ったわけではないので、「送金してください」としましょう。

〈20〉から〈22〉はド素人が理解するには大変です。

〈20〉「・・・通知が来る」は「・・・通知が来ます。」とする。

「現在・・・」は「()」とします。

「タイマーは・・・オフになります。」意味不明です。追加説明が必要です。

〈21〉特に、ここは理解できません。

「財布が追跡(されない)しない・・・」の「財布が追跡」とは？意味不明です。

また、財布は〈15〉〈17〉のウォレットに統一すべきです。

「手紙が来た場所・・・」この「手紙」はメールのことですよ？また「場所」は送り主ですか？

受け手ですか？

「自動的に作成されますので・・・」これも意味が理解できません。

「どこにも文句を言おうとしないでください。」は「この件で誰かに相談しないでください。」と書きたいのかな？

〈24〉「頑張つて、バカなことはしないでね。」は「決して、私のことを探そうとしないでください。」と書き換えましょう。

特に、語尾の「ね」の使い方が気になります。この言葉を選んだ根拠は何か？詐欺師としては余りにも幼すぎる言葉です。この言葉を見た瞬間、送り主の学力の低さを認識できました。

「自分の評判を考えてみてください。」は締め言葉として、いかがなものか？悪人らしい台詞を書くこと。善良な市井人には適切な言葉が浮かびません。

以下は、総評です。

締めの言葉にあるように、こんな文面を送り付けてくる「ご自分の評判を考えてみてください。」。この文面では他人を騙せません。象を見て、ネズミとは言えません。とても残念ですが、日本語が大泣きしています。

メールの受け手はパソコンやネットに習熟しているわけではありません。素人さんに読んでいただくことを念頭に作文しましょう。

社会一般の礼儀としてメール（手紙）には最低限、件名と氏名を記載しましょう。記載できないのであれば、この仕事（趣味？）から足を洗うべきです。

この手の脅しが有効に実を結ぶための必要十分条件を伝授しましょう。それは受け手の側になんらかのやましい行為があつて、それを脅す側が事実として握っていること、それを公開されることに受け手がとてもビビッテいることです。例えば、浮気の現場写真のようなものです。ところが、脅しの対象は受け手には全く身に覚えのない行為であつて、脅す側はその事実すら握っていないようです。握っているなら、受け手が写っている映像の一部を見せるべきです。多くの受け手は恍惚感に浸る己の表情を見たことも想像したこともないでしょうから（笑）。でも、筆者は気色悪いので観たくはありません（笑笑）。もっとも見せられても、それを恥ずかしいとは思わないかもしれません。行為自体は生き物して自然なことです。それを盗み観ている送り主は異常体質じゃないですかね。善良で健康な人間たちのそんな羞恥心にすがって金を騙し取りたいのでしょうか、無理です。

そもそもこの職場のネット環境も、そんなサイトへはアクセスできないよう設定されています。また多忙な日々、皆さんそんなサイトへアクセスするほど暇じゃないでしょ。さらに、数年後に傘寿を迎えるような受け手には、そんなお愉しみはとうの昔に終わったことです（本心は寂しいのだぞお）。こんな小説仕立ての文章を書いている方がはるかに愉しいでしょうね（この原稿も愉しんで書いています）。

この文面にはごく微かによい所があります。それはド素人に悪事を働くためのパソコンの操作技術の一部だけでも開陳していることです。しかし、ド素人はしよせんド素人です。説明をされるほど、理解できません。その操作すら疑つてしまいます。まずはこの点から検討すべきです。

最後に、送り主へ苦言を呈しておきます。

世にはびこるといふ詐欺師の文才がこんな低レベルであつて、こんな下手糞な脅し文句を読まされた筆者はただただ口惜しくて残念で言葉が出ません。小学校で漢字、平仮名、カタカナを習

ったときのまつさらな気持ちで日本語に接してください。その上でもっと綺麗で、しなやかな日本語を書いてください。読者をうまく騙し、「う〜ん」と唸らせるような上等なミステリー小説のごとく読ませてください。受け手をとことん愉しませてください。

伝わる日本語をしっかりと書くためには自分への投資が必要です。「日本語表現法講座」や「小説家養成講座」に入会されることをお勧めします。書かれた文章は残ります。下手糞な文章例の教材として利用されてしまいます。どうか一歩でも二歩でも文才を高めてください。詐欺の文面といえども文学的価値の高いものにしませう。後世に残る詐欺文を書いてください。そんな気持ちを込めて日本語を大切に扱ってください。

この校閲文を送り主へ返信してあげられないのがとても残念です。どの受け手もそんな立場にいることをご理解していただいて、書かれた文面はよく推敲されてから、あるいは（警察官にでも）校閲してもらってから送りつけてきてください。読んでいただくわけだから、読み手にも敬意を払いましょう。それは文章を書く者の責務です。

と、筆者はこれを習作の一環として書いてみました。

「ああ寂し 文才のない 詐欺メール」

厚顔無恥って

年甲斐もなく厚化粧をして、恥知らずな小母さん？

同音異義語

— 国会議員が贈収賄容疑で逮捕され、裁判（第一審）が始まった。

記者「議員！一言、お願いします！ 金銭の授受は事実ですか？」

議員「澄みません。（濁っている）」

記者「これで闇に葬るつもりですか？」

議員「済みません。（まだ、終わっていない）」

記者「最後に、一言！」

議員「すみません。（謝罪）」

どんな意味かな？

— 彼は歳をとって丸くなった。角もとれた。

加齢とともに体型が太くなって人間になった鬼？

漢字

「計画」という漢字は、「タテ」と「ヨコ」の線ばかり。やはり曲げてはいけない、外れてはいけないようだ。

「一寸」という漢字は、「いっすん」とも「ちよつと」とも読む。いずれにしても「短い」「少ない」ようだ。

関係性

つき合いのない兄弟・姉妹は他人と同じ。

つき合いのある他人は兄弟・姉妹と同じ。

十分な睡眠？

加齢とともに就寝時刻は早くなり、新聞を読む時刻は早くなる。

安心の声かけ

「うちの幼児、人見知りかひどくてえ、他人の顔を見たら、すぐに泣くのよ」
母親は心配そうな顔で打ち明けます。
「あらく、頭のいい幼児じゃない。こんなに小さいのに人（親と他人）を見分けられるなんて」

議論沸騰か？

ある地方の町議会が議会の開催を知らせるポスターを作った。それは題字が赤字で大書された、昭和の映画ポスターのようであった。

ヨサン対ギカイ

新年度の予算案は前年度比3億円増とのこと。

（注。鷹栖町の町議会。『朝日新聞』2022年3月5日。）

瓢箪から駒？

老妻は湯がき中のスパゲッティに具材（ブタ肉、ネギ）を入れて、煮込んでいた。
老夫は、スパゲッティの入っていた袋を見せて、
「おい。インスタント・ラーメンじゃないぞ。間違ってる」
と声を荒げてしまった。
それからスパゲッティを作る手順を説明した。老妻はそっぽを向いていたが。
仕方ない、ドンブリに入れて食べてみた。
スパイスを効かせれば、美味しく食べられそうな食感だった。
「麺は麺だな。うん」

五月雨式

— この漢字、何て読む？ どんな意味？
「うん、ごがつ・あめ・しき？」
「ブー」
「じゃ、ご・つき・あめ・しき？」
「ブー、ブー」
「五月と書いて、〃さつき〃と読むから、さつき・あめ・しき？」
「どんな意味？」
「さつきに降る雨のよう、かな？」
「確かに、さつきとも読むけど、このケースは違うよ。でも、意味はかなり正しいよ」
「もうく分からん。こんなことダラダラ続けているも埒があかないよ」
「そう、正解は、〃さみだれしき〃って読んで、その意味は梅雨時の雨のように何かをだらだらと断続的に続けている様子のことさ」

世代の呼称

— 生まれた年で世代を表現することがある。

1996年～2021年はZ世代。
1977年～1995年はY世代（ミレニウム世代とも呼ぶ）。
1965年～1976年はX世代。

「じゃあ、その前の1954～1964年はW世代か？」
「いや、違う。私は1955年生まれだから、高度経済成長突入世代と呼んでもらいたい」

読解力を身に付ける読書法とは

良質のフィクション系を読むことです。これ、「うそ」じゃありません。フィクション系を読む行為は書かれた言葉を鵜呑みにする前に一度立ち止まる訓練となります。騙されないぞって。これが深く読み込む力を養ってくれるのです。

〔注。『朝日新聞』2019年12月23日参照。〕

長生きの秘訣

「息を吐いたまま心拍数を少なくする訓練をなさい」
「えーっ！ どうして?」

「哺乳類には生涯の呼吸回数や心拍数がほぼ一定数、つまり上限数がある、という考えに基づいている」

「ネズミとゾウでは寿命に違いがあるってこと?」

「そう。同じ時間で測ると心拍数は、ネズミはとて多く、ゾウは少ない。だから、ネズミは短期間で生涯の心拍数に達してしまう。よって、寿命は短い」

「なのに、ネズミはちよろちよろと動き回っているのね。じくっとしてればいいのイ」

〔注。』のちゃんのDO科学 象はどうして長生きなの?』『朝日新聞』2021年12月18日参照。〕

共通点は?

「1歳3カ月」の赤ん坊。

「91歳3カ月」のお年寄り。

答は「オシメ」です。

真の夫婦喧嘩

本気になって、夫婦喧嘩をした。妻は出て行った。
でも、次の朝、一緒に朝食を食べた。

責任者、出てこい!

野生動物の食害が年々ひどくなってきた。

過疎化や高齢化で里山が荒廃している。耕作放棄地も増えた。

〔注。『朝日新聞』2021年12月21日参照。〕

植物を見直そう

植物で作ったプラスチック、インフルエンザワクチンにとどまらず、エイジングケアローションとして、植物の根、葉、茎、実から化粧水までをも作っている。
例えば、オタネニンジン。

「じゃあ、そのニンジンを直接、食べればいいんじゃないの？ 咀嚼力も付くよ」
〔注。『朝日新聞』2022年3月5日参照。〕

エイリアンの怒り

地球人が打ち上げる人工衛星が増え（8014個。2022年1月6日現在）、宇宙ゴミ（スペースデブリ）となっている。大きさが10センチ以上のデブリは3万6千個以上もある。ぶつかりそう宇宙船での散歩も危なっかしい。

「不法投棄の罪で逮捕しろ！」

〔注。『朝日新聞』2019年2月8日参照。〕

納得

同じふうにも物を見られない相手と、同じふうに通わせるのは簡単ではありません。時間をかけるか、諦めるか、妥協するか、のいずれかです。人格は、本人が理解し、本人が変えない限り、他人では変えられません。

過食快便

痴呆症ぎみの老妻は野菜を頻繁に買ってくる。冷蔵庫の野菜庫には同じものが常に数種類在庫となっている。

「おい、次から次へと買ってきても、古いものは痛んだり、腐っているぞ」と言い聞かせて無駄だ。すぐに忘れるのだから。

仕方ない。毎食、余分に食べよう。

お陰で、老夫は長年苦しんできた便秘がすっきりと解消した。

（了）